

子ども食堂とは

鹿嶋市食育クラブわかば
日向寺 恵美



自己紹介

鹿嶋市食育クラブわかば

平成19年4月

鹿嶋市女性農業後継者クラブわかば発足

農家のお嫁さん13名

平成23年

鹿嶋市食育クラブわかば改称

主な活動内容

- 地産地消料理教室
- 親子料理教室
- 子ども料理教室
- 幼保小食育出前事業
- さつまいもの出来るまで（パネルシアター、サツマイモの歌）
- 市内のイベントへ参加（かしま祭り、はまぐり祭りなど）
- 市内団体への食事ボランティア（社協、青年会議所など）
- 子ども食堂（平成30年～）
- フードパントリー（令和2年～）

子ども食堂とは

主に市民ボランティアが主体となり、無料または
低価格帯で子どもたちに食事を提供する、地域に密着したコミュニティーの場

食事だけでなく、学習支援など、様々な体験プログラムを行うところもある



目的

- 子どもの居場所をつくること

※食えることが目的ではなく、地域ぐるみで子どもたちに居場所をつくろうと、多くの子ども食堂が滑動している



対象

子どものみ、だれでも利用できる

※子どもやその親、ひとり暮らしの高齢者など、誰でも招くところが多い

※子どもだけに限らないため、子ども食堂とならないところもある

※生活困窮世帯の子どものみを対象としているところも一部ある



実施団体

ボランティア団体、NPO法人、
社会福祉法人など

※さまざまな人や組織が参画・応援しやすいのが、
子ども食堂の良さです



活動財源

- 参加費（食事代金）
- 寄付金
- 会費
- 助成金

こども食堂は、月1回開催のところから365日3食を提供しているところまで、数人を対象としているところから毎回数百人が集まるところまで、実に多様です。目的も、おなかをすかせた子どもへの食事提供から、孤食の解消、滋味豊かな食材による食育、地域交流の場づくりと、さまざまです。コロナにおいて、こども食堂は居場所としての開催は難しくなりましたが、それでも日頃からのつながりを生かし、お弁当や食材等の配布などのフードパントリーの活動などにかえ、子ども、子育て世帯等とのつながりを守り、活動を続けています。

